



校訓「至誠」

母校 元小

学校だより
令和8年1月
川口市立元郷小学校
児童数：433名



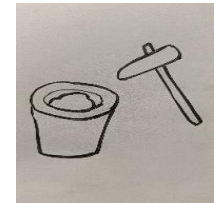
元郷小HP

新たな気持ちで

校長 根本 広徳

みなさん、明けましておめでとうございます。2026年、令和8年がスタートしました。子供たちには、2学期の終業式で、2025年、令和7年の1年間を振り返りをしましょうと、また、本日の3学期始業式では、振り返りをもとに新たな1年を歩んでいきましょうと伝えました。各ご家庭でも年末、年始の行事等を通して、新年に向けての思いを共有されたのではないのでしょうか。

さて、今年は午年（うまどし）ということで、馬のような「速さ」「活力」「自由」をもとに情熱をもってかなえたい夢を追いかけ、挑戦するために行動する時期として捉えられています。また、60年に一度めぐってくる丙午（ひのえうま）の年となりますので、勢いとエネルギーに満ち溢れ、活動的になる年であると考えられています。一方、午（うま・ご・ひる）という漢字は、元々餅つきの「きね」の象形文字でしたが、十二支の7番目（馬）を指し、正午（昼の1



2時)を意味し、「午前」「正午」「午後」のように時間帯の区切りに使われました。また、子午線（しごせん）のように子（北）と午（南）のように方角を指すものでもありました。時間の基点、方角の基軸ということで、物事が極まるどころ、成長点、成果がでてくる地点と捉えることができます。

わが元郷小では、「いのちを大切にす る あいのある学校」を実現するために、まず「いのちを大切にす る」とはどういうことか、4月からお話してきました。自分自身を大切にすること、相手を大切にすること、自分のまわりのものを大切にすることを様々な場面で考えてきました。今年は、みなさんで考えてきたことを実際に行動に移す年にしたいと思っています。頭の中でわかっているだけでも行動に移さなければ、なかったことになってしまいます。午年の意味するように、勢いとエネルギーに満ち溢れ、こうありたいという理想を実現するために勇気をもって行動に移し、形として表していく1年にしていきたいと思います。

2026年、令和8年も目指す学校像「いのちを大切にす る あいのある学校」に向けて、新たな気持ちで取り組んでまいります。各ご家庭、地域の皆様方のご理解、ご協力を昨年度同様賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※「いのちを大切にす る」取組として、来る1月14日（水）の講話朝会では、南消防署 南平分署 分署長の山本様より、9.11 米国同時多発テロ直後の救援体験のお話、1月30日（金）の6年生の授業では、日本原水爆被害者団体協議会（2024年ノーベル平和賞）の木内様より、原爆投下時のお話があります。保護者、地域の方で参加ご希望がありましたら、事前に学校へご連絡ください。